

I | 映画館での上映

3

諸外国との比較 [2024]

※各国のデータについては、以下を参照した。

“Focus 2025 – World film market trends”

『映画年鑑2025』「統計編 世界主要各国映画諸統計」
(キネマ旬報社刊)フランス
フランス国立映画センター
Centre National du Cinema et de l'Image Animee (CNC)
“Bilan du CNC”
<https://www.cnc.fr/creation-numerique/etudes-et-rapports/bilans>イギリス
英国映画協会
British Film Institute (BFI) “Statistical Yearbook”
<http://www.bfi.org.uk/education-research/film-industry-statistics-research/statistical-yearbook>ドイツ
ドイツ映画振興協会
Filmförderungsanstalt (FFA) “FFA Info”
<http://www.ffa.de/marktdaten.html>オーストラリア
スクリーン・オーストラリア
Screen Australia “Fact Finders”
<https://www.screenaustralia.gov.au/fact-finders/>韓国
韓国映画振興委員会 영화진흥위원회 (KOFIC)
「韓国映画産業決算」
<http://www.kofic.or.kr/kofic/business/rsch/findPolicyList.do>

2026年2月現在、まだ、諸外国の2025年のデータはインターネット上に公開されていないため、以下では、2024年の日本と諸外国のデータを比較している。

観客数

2020~2022年、世界中の映画産業がコロナ禍で大きな打撃を受けた。終息の時期は国によって異なるが、日本では2022年にはすでに映画館の観客数が回復する兆しが見られ、2023年の観客数は1億5553万5000人と、コロナ前(2014年)の97%まで回復した。2024年の観客数はやや減少したが、1億4444万1000人で2015年の87%、他国と比較すると順調に回復しているように見える(2025年は歴代最高の興行収入となった)。諸外国の2024年の観客数をみると、フランスが2015年比88%、中国80%、イギリス74%と、まずまず順調に回復しているが、アメリカ・カナダは58%、韓国57%、オーストラリア55%に

留まり、回復に時間を要しているようである。観客数を人口で割った国民1人当たりの年間鑑賞本数は、韓国が2.4本(←4.3)、アメリカ・カナダ2.0本(←3.7)、フランス2.6本(←3.2)、オーストラリア1.8本(←3.8)、イギリスは1.8本(←2.6)と、()内の10年前の数値からかなり下がったままである。一方、日本の年間鑑賞本数は、2021年0.9本、2022年1.2本、2023年1.3本、2024年は1.2本と順調に回復、さらに2025年にはコロナ前を上回る1.5本となっている。とはいえ、他国に比べると元々年間鑑賞本数が少なく、ドイツ、中国と最下位を争っている。

→ [fig.18, 19](#)

映画館数・スクリーン数

いずれの国も、シネマコンプレックスの増加を背景に2019年までは、スクリーン数は増加を続けていた。コロナ禍の2020年に減少に転じ(フランスと日本は微増、中国は増加)、さらに影

響が広がることが懸念されたが、2021年以降は多くの国が微増に転じ、2024年も極端な変化はみられない。10年前と比較するとアメリカ・カナダを除くすべての国でスクリーン数は増加しており、特に、韓国では約1000スクリーン増加、中国では10年前の約3倍、9万スクリーンを越える激増となっている。コロナによる映画館への影響を抑えるべく、すべての国において、様々な形で映画館を守るための支援策がこじられたことなどにより、コロナ禍による閉館は小規模なものにとどまったと考えられる。

2024年のスクリーン数は、中国が9万968スクリーンと群を抜いている。また、アメリカ・カナダが3万8592スクリーンと他の国に比べて圧倒的に多く、次いでフランスが6354、ドイツ4842、イギリス4682スクリーンと続く。

人口をスクリーン数で割った「1スクリーン当たりの人口」は、その数値が低いほどスクリーンが多く、身近にスクリーンが存在しているとみることができる。この数値をみると、日本は33,425人に1スクリーンと、他の国に比べてスクリーンが極端に少ない。アメリカ・カナダは9,883人に1スクリーン、フランスは10,789人に1スクリーンで、日本以外の7ヶ国はいずれも1スクリーン当たりの人口が1万人台、あるいはそれ以下におさまっており、日本のスクリーン数は、アメリカ・カナダやフランス、オーストラリアの3分の1、韓国、ドイツ、イギリス、中国の2分の1程度しかない状態が続いている。(スクリーン数のカウントの方法が、諸外国と日本で異なっている可能性もある)

→ [fig.20, 21, 22](#)

興行収入・入場料金

各国の興行収入や入場料金については、『世界主要各国映画諸統計』および「Focus 2025」を基礎資料としており、この中で各国の興行収入等は米ドルで記載されている。fig24の注にあるように、本年鑑では米ドルをさらに当該年の為替レートで円に換算した数値を示している。現在のような形で「諸外国との比較」を行うようになって10年となるが、その間の為替

fig.18 諸外国との比較[観客数](2015-2024)

	アメリカ・カナダ*	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	中国	オーストラリア	日本
人口(2024)	381,400	68,552	83,517	69,226	51,751	1,422,585	27,197	123,975
2015	1,320,000	205,400	139,200	171,900	217,290	1,260,000	90,300	166,630
2016	1,320,000	213,200	121,100	168,300	217,020	1,370,000	91,300	180,189
2017	1,240,000	209,400	122,300	170,600	219,870	1,620,000	85,000	174,483
2018	1,300,000	201,200	105,400	177,000	216,390	1,720,000	89,800	169,210
2019	1,240,000	213,200	118,600	176,100	226,680	1,730,000	84,700	194,910
2020	240,000	65,300	38,100	44,000	59,520	548,000	28,200	106,137
2021	470,000	95,500	42,100	74,000	60,528	1,170,000	39,700	114,818
2022	715,100	152,000	78,000	117,300	112,805	712,000	57,900	152,005
2023	831,300	180,400	95,700	123,600	125,140	1,299,000	58,100	155,535
2024	762,000	181,500	90,100	126,500	123,130	1,010,000	49,600	144,441
2015→2024の変化	58%	88%	65%	74%	57%	80%	55%	87%

単位:千人

fig.19 諸外国との比較[年間鑑賞本数](2015-2024)

	アメリカ・カナダ*	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	中国	オーストラリア	日本
2015	3.7	3.2	1.7	2.6	4.3	0.9	3.8	1.3
2016	3.7	3.3	1.5	2.6	4.2	1.0	3.7	1.4
2017	3.4	3.2	1.5	2.6	4.3	1.1	3.4	1.4
2018	3.6	3.1	1.3	2.7	4.2	1.2	3.6	1.3
2019	3.4	3.3	1.4	2.6	4.4	1.2	3.3	1.5
2020	0.6	1.0	0.5	0.7	1.1	0.4	1.1	0.8
2021	1.3	1.5	0.5	1.1	1.2	0.8	1.6	0.9
2022	1.9	2.3	0.9	1.9	2.2	0.5	2.2	1.2
2023	2.2	2.7	1.1	1.8	2.4	0.9	2.2	1.3
2024	2.0	2.6	1.1	1.8	2.4	0.7	1.8	1.2

—*アメリカ映画協会 (Motion Picture Association of America, MPAA) は、観客数について、アメリカとカナダをあわせた数値を公表している。

fig.20 諸外国との比較[スクリーン数](2015-2024)

	アメリカ・カナダ	フランス	ドイツ	イギリス*	イギリス(旧)	韓国	中国	オーストラリア	日本
2015	40,006	5,741	4,692	-	4,046	2,424	31,627	2,080	3,437
2016	40,174	5,842	4,739	4,327	4,150	2,575	41,179	2,121	3,476
2017	40,393	5,913	4,803	4,512	4,264	2,766	50,776	2,210	3,530
2018	40,837	5,983	4,849	4,640	4,340	2,937	60,079	2,278	3,591
2019	41,172	6,114	4,961	4,782	4,480	3,079	69,787	2,310	3,627
2020	40,998	6,127	4,926	4,682	-	3,015	75,581	2,229	3,669
2021	40,578	6,193	4,931	4,610	-	3,254	82,248	2,290	3,687
2022	42,063	6,298	4,911	4,720	-	3,322	83,998	2,189	3,634
2023	41,077	6,320	4,901	4,749	-	3,371	86,310	2,272	3,682
2024	38,592	6,354	4,842	4,682	-	3,296	90,968	2,244	3,709
2015→2024の変化	96.5%	110.7%	103.2%	-	-	136.0%	287.6%	107.9%	107.9%

—*イギリスは、2020年よりスクリーン数及び映画館数の算出方法を変更、新しい算出方法では2016年以降の数値のみ公表している。ここでは、スクリーン数の10年間の比較ができるよう、2019年までの旧式の算出方法によるデータも併記している。

fig.21 諸外国との比較[映画館数](2019-2024)

	アメリカ・カナダ	フランス	ドイツ	イギリス*	韓国	中国	オーストラリア	日本
2019	-	2,045	1,734	1,080	513	-	524	593
2020	-	2,041	1,728	985	474	-	472	595
2021	-	2,028	1,723	928	542	-	501	596
2022	-	2,061	1,730	-	561	-	406	590
2023	-	2,054	1,744	-	573	-	460	592
2024	-	2,052	1,722	-	570	-	456	594
2019→2024の変化	-	100.3%	99.3%	-	111.1%	-	87.0%	100.2%

レートは、2015年の時点では1米ドル=112円、2018年は1米ドル=110.7円、2019年は109円を採っており、2021年まで大きな変化はなく、年毎の変化をみる際に為替レートを意識することはあまりなかった。しかし、コロナ禍後、2022年には1米ドル=131円となり、2023年は1米ドル=140円、2024年は152円まで、急速に円安が進み、各国との比較を行うことは複雑な注意を要する状況となっている。

例えば、平均入場料金をみると、2019年、日本が1340円であったとき、アメリカ・カナダは992円、フランスは829円、ドイツやイギリスで

も1000円程度で日本の入場料金の高さが目立っていたが、円安が進んだ2024年では日本が1433円であるのに対し、アメリカ・カナダは1721円、フランスは1220円、イギリスやドイツは1500円を越えている。ドルに換算すると、日本の入場料金は年々安くなっている。他国に比較して「高い」と言われ続けてきた日本の入場料金は、いまや欧米各国より安いものとなりつつある。

→ fig.24

1スクリーン当たりの観客数・興行収入

1年間の観客数をスクリーン数で割った「1スクリーン当たりの観客数」をみると、いずれの国も10年前を下回っている。コロナの影響もあるが、いずれの国でもスクリーン数の増加に観客の増加が追いついていないことを示している。2024年の1スクリーン当たりの1年間の興行収入をみると、日本は約5,581万円とトップの数値を示している。他の国に比較してスクリーン数が少ないため、自動的に1スクリーン当たりの観客数や興行収入は高くなるが、円安が進む中で、欧米各国との差は縮まりつつある。

→ fig.23, 24

fig.22 諸外国との比較[1スクリーン当たりの人口](2024)

	アメリカ・カナダ	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	中国	オーストラリア	日本
人口(千人)	381,400	68,552	83,517	69,226	51,751	1,422,585	27,197	123,975
スクリーン数	38,592	6,354	4,842	4,682	3,296	90,968	2,244	3,709
人口/スクリーン	9,883	10,789	17,248	14,786	15,701	15,638	12,120	33,425

fig.23 諸外国との比較 [1スクリーン当たりの観客数](2015-2024)

	アメリカ・カナダ	フランス	ドイツ	イギリス*	イギリス(旧)	韓国	中国	オーストラリア	日本
2015	32,995	35,778	29,668	-	42,486	89,641	39,839	43,413	48,481
2016	32,857	36,494	25,554	38,895	40,554	84,280	33,269	43,046	51,838
2017	30,698	35,413	25,463	37,810	40,009	79,490	31,905	38,462	49,429
2018	31,834	33,629	21,736	38,147	40,783	73,677	28,629	39,421	47,121
2019	30,118	34,871	23,906	36,826	39,308	73,621	24,790	36,667	53,739
2020	5,854	10,658	7,734	9,398	-	19,741	7,250	12,651	28,928
2021	11,583	15,421	8,538	16,052	-	18,601	14,225	17,336	31,141
2022	17,001	24,135	15,883	24,852	-	33,957	8,476	26,450	41,829
2023	20,238	28,544	19,527	26,027	-	37,123	15,050	25,572	42,242
2024	19,745	28,565	18,608	27,018	-	37,357	11,103	22,103	38,943

fig.24 諸外国との比較[入場料金・興行収入](2024)

	平均入場料金(円 米ドル)						興行収入(百万円 百万米ドル)						1スクリーン当たり興行収入(万円 万米ドル)					
	2024		2023		2019		2024		2023		2019		2024		2023		2019	
アメリカ・カナダ	1,721	11.3	1,455	10.4	992	9.1	1,311,136	8,620.0	1,209,740	8,630.0	1,245,852	11,427.3	3,397	22.3	2,945	21.0	2,813	25.8
中国	888	5.8	836	6.0	587	5.4	896,926	5,896.8	1,086,383	7,750.0	1,014,015	9,301.5	986	6.5	1,259	9.0	1,688	15.5
イギリス	1,501	9.9	1,384	9.9	989	9.1	189,899	1,248.5	171,018	1,220.0	174,211	1,597.7	4,056	26.7	3,601	25.7	3,817	35.0
フランス	1,220	8.0	1,119	8.0	829	7.6	221,406	1,455.6	201,857	1,440.0	173,502	1,591.2	3,485	22.9	3,194	22.8	2,838	26.0
インド	244	1.6	231	1.6	121	1.1	215,197	1,414.8	207,464	1,480.0	176,806	1,621.5	2,168	14.3	2,130	15.2	1,856	17.0
韓国	1,079	7.1	1,082	7.7	790	7.2	132,896	873.7	135,426	966.1	179,129	1,642.8	4,032	26.5	4,017	28.7	5,818	53.4
ドイツ	1,583	10.4	1,479	10.6	1,054	9.7	142,654	937.9	141,580	1,010.0	124,991	1,146.3	2,946	19.4	2,889	20.6	2,781	25.5
オーストラリア	1,844	12.1	1,579	11.3	1,099	10.1	91,445	601.2	91,747	654.5	93,097	853.8	4,075	26.8	4,038	28.8	4,030	37.0
日本	1,433	9.4	1,424	10.2	1,340	12.3	206,983	1,360.8	221,482	1,580.0	261,180	2,395.3	5,581	36.7	6,015	42.9	7,289	66.9
為替レート	2024	2023	2022	2021	2020	2019	2018											
レート(円=1米ドル)	152	140	131	110	107	109	111											

観客数及びスクリーン数：『世界主要各国映画諸統計』（「映画年鑑2025」）、「Focus 2025」参照

興行収入：興行収入：『世界主要各国映画諸統計』および「Focus 2025」において、興行収入は米ドルで記載されている。

各年の日本の興行収入から米ドルとの為替レートを計算、そのレートで各国の興行収入(円)を計算している。

平均入場料金：興行収入を観客数で割った数値

1スクリーン当たり興行収入：興行収入をスクリーン数で割った数値

シネマコンプレックスの割合

フランス、韓国とも、映画館数やスクリーン数に大きな変化はみられなかった。

シネコンの割合が高いのは韓国で、全3296スクリーン中3075スクリーン、93.3%をシネコンが占めている。日本のシネコンのシェアも3709スクリーン中3291スクリーン、88.7%と高い数値を示している。フランスは、シネコンの比率は44.8%にとどまっており、映画館数では、シネコン251館に対し、シネコン以外の映画館が1801館と、シネコンを大きく上回っている。(フランスはシネコンの定義を「8スクリーン以上」としており、他国が「5~7スクリーン以上」とし

ていることと異なる)また、約1300館が多様な映画を上映する「アー・エ・エセイ映画館」(アートハウス、日本のミニシアターに近い)に認定されており、国や自治体から助成金を得ている。フランスの映画館数は2052館と日本の594館の3倍以上であり、人口1~2万人の中小の市町村の73%に映画館があり、身近な場所で多様な映画を見ることができる環境が保持されている。

→ fig.25, 26

公開本数

コロナ禍で欧米各国の公開本数は激減したが、2023年以降は、各国ともコロナ前の2019年とほぼ変わらない数の作品を公開しており、1本当たりの観客数は10年前と比較するとかなり低い数値に留まっている。特に、公開本数が1344本と非常に多い韓国では1本当たりの観客数が91,615人と厳しい数値を示している。

日本では、「スクリーンクォーター制」のような特別な制度がなくても、自国映画/外国映画の割合は、コロナ禍前の2019年までは、公開本数、興行収入ともに大体5.5:4.5程度を保ち、他国に比べて非常にバランスの取れた状態となっていた。しかし、コロナ禍後の2020年、興行収入におけるシェアは、日本映画76%、外国映画24%となり、外国映画のシェアは大きく低下した。2024年も外国映画の低迷が続いている。

→ fig.27

fig.25

諸外国との比較[シネマコンプレックスの割合 スクリーン数](2020-2024)

		2020	2021	2022	2023	2024
フランス	スクリーン数	6,127	6,193	6,298	6,320	6,354
	うちシネコン	2,677	2,752	2,812	2,830	2,849
	割合	43.7%	44.4%	44.6%	44.8%	44.8%
韓国	スクリーン数	3,015	3,254	3,322	3,322	3,296
	うちシネコン	2,908	3,060	3,120	3,120	3,075
	割合	96.5%	94.0%	93.9%	93.9%	93.3%
日本	スクリーン数	3,672	3,688	3,634	3,634	3,709
	うちシネコン	3,238	3,249	3,228	3,228	3,291
	割合	88.2%	88.1%	88.8%	88.8%	88.7%

fig.26

諸外国との比較[シネマコンプレックスの割合 映画館数](2023, 2024)

	2023			2024		
	シネコン	シネコン以外	合計	シネコン	シネコン以外	合計
フランス	249	1,805	2,054	251	1,801	2,052
韓国	459	114	573	449	121	570
日本	360	232	592	363	231	594

シネマコンプレックスの定義…

フランス 8スクリーン以上の劇場

日本 5スクリーン以上の映画上映専門施設

韓国 CJ CGV、ロッテシネマ、メガボックス、シネQのチェーンによる映画館に加え、7スクリーン以上を持つ映画館

映画館に対する恒常的な支援制度

日本以外のいずれの国にも、映画産業と映画文化を統括し振興する組織(フランスのCNC、イギリスのBFI、ドイツのFFA、韓国のKOFICなど)があり、製作・配給・興行(上映)・教育・保存、放映や配信にいたるまで、映画に関わるあらゆることに関与している。上映活動についても、シネコンのような商業的な大規模映画館での上映から、多様な映画を上映するミニシアターやシネマテーク、自主上映まで、様々なレベル、種類の上映活動の状況を把握し、振興し支援する制度が確立している。公的な支援、振興策には、単に金銭的な支援という以上の意味がある。公的な支援を受ける映画館には、公共的な文化施設として、

地域コミュニティや文化団体との連携を重視したプログラム作りや若年層の観客開拓、映画教育プログラムなど多様な活動を行うこと、そのような活動を行うスタッフを育成することも求められる。そのことにより、地域における文化的な存在感、持続可能性も高くなる。また、多様な映画を上映する映画館の存在は、若手クリエイターの育成という意味でも非常に重要である。ほとんど公的な支援を受けずに、140館をこえるミニシアターが、大都市のみならず中小都市にも存在する日本の状況は非常に貴重であり、諸外国から見ると「miracle (奇跡)」であり、敬意をもって見られている。コロナ後の観客数の順調な回復ぶりは驚異的だと認識されているようでもある。関係者の献身と犠牲によって

成立してきた小規模な映画館の運営は健全とは言えず、未来に向けて持続可能でさらに豊かな上映環境を構築するために、映画振興策の見直し、映画館支援、上映者の実態に対応した助成プログラムの実現が待望されている。

fig.27 諸外国との比較[公開本数](2015-2024)

		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		
												自国映画	外国映画
フランス	公開本数	652	716	693	683	746	365	455	681	716	744	401	343
												54%	46%
	観客数(千人)	205,400	213,200	209,400	201,200	213,200	65,300	95,500	152,000	180,400	181,500	45%	55%
	1本あたり入場者数	315,031	297,765	302,165	294,583	285,791	178,904	209,890	223,201	251,955	243,952		
ドイツ	公開本数	596	610	587	576	606	339	429	554	598	622	213	409
												34%	66%
	観客数(千人)	139,200	121,100	122,300	105,400	118,600	38,100	42,100	78,000	95,700	90,100	19%	81%
	1本あたり入場者数	233,557	198,525	208,348	182,986	195,710	112,389	98,135	140,794	160,033	144,855		
イギリス	公開本数	759	821	760	787	754	381	498	703	824	847	203	644
												24%	76%
	観客数(千人)	171,900	168,300	170,600	177,000	176,100	44,000	74,000	117,300	123,600	126,500	7%*	93%*
	1本あたり入場者数	226,482	204,994	224,474	224,905	233,554	115,486	148,594	166,856	150,000	149,351		
韓国	公開本数	1,176	1,520	1,621	1,646	1,740	1,693	1,637	1,643	1,410	1,344	604	740
												45%	55%
	観客数(千人)	217,290	217,020	219,870	216,390	226,680	59,520	60,530	112,805	125,140	123,130	58%	42%
	1本あたり入場者数	184,770	142,776	135,638	131,464	130,276	35,157	36,976	68,658	88,752	91,615		
オーストラリア	公開本数	540	611	697	758	754	401	457	715	743	804	86	720
												11%	89%
	観客数(千人)	90,300	91,300	85,000	89,800	84,700	28,200	39,700	57,900	58,100	49,600	4%*	96%*
	1本あたり入場者数	167,222	149,427	121,951	118,470	112,334	70,324	86,871	80,979	78,197	61,692		
日本	公開本数	1,136	1,149	1,187	1,192	1,278	1,017	959	1,143	1,232	1,190	685	505
												58%	42%
	観客数(千人)	166,630	180,189	174,483	169,210	194,910	106,137	114,818	152,005	155,535	144,441	75%*	25%*
	1本あたり入場者数	146,681	156,822	146,995	141,955	152,512	104,363	119,727	132,988	126,246	121,379		

*観客数のシェアではなく興行収入のシェア

